

万代の風

万代コミ協だより第24号

2016年(平成28年)11月25日

万代地域コミュニティ協議会

発行者：丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

= 平成28年第10回 万代地域総合防災訓練 =

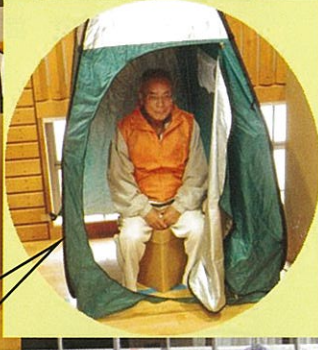
万代地区
防火防犯防災連合会
10月30日(日曜日)
万代長嶺小学校9時



アルファミの炊き出しに宮中生徒さんがボランティア参加



神明自治会、東大通2自治会



準備された最新の防災グッズの数々



搬送訓練 担架の作り方講習



AED取り扱い、心肺蘇生法の訓練

ここは簡易トイレです。さて、どんな思索にふけているのでしょうか！



パパと一緒に水消火器訓練
左は濃煙テントの疑似体験



腰痛になりそうな姿勢 気をつけてください



みやの万代ぶつぶつ

～ 石塚中央区区長とともに ～

8月23日コミ協臨時理事会に当面の課題を取りまとめ、区長あて要望書案を作った。(1)宮浦乳児園跡地(平成31年移転予定)の活用と、自治会集会所に関する要望について。(2)保健施設の利活用について、(3)高齢者交流施設の確保について、(4)万代コミ協事務所の開設についてなどの4議案。=議案(1)=当コミ協エリアに自治会町内会主管の常設集会所開設を要望します。=議案(3)=当地域は都心の顔、新潟駅前、万代シティなどが立地し、人口増を押し上げてきたマンション世帯の高齢化が進み、近く「爆発的に増加する高齢者」をむかえることは間違いない。まず高齢者にとって居心地の良い設備環境の急ピッチな整備を要望いたします。=議案(4)=万代コミ協事務所の開設については万代市民会館が最適と考えます。

副会長：宮川 善徳

編集後記

朝風払葉 11月もお仕舞です。冷たい北風が木の葉を散らす頃。防災訓練の参加者は心なしか昨年より少なめでした。実際の災害で「てんでんこ」「名をまだし」の「こ」切に無事を祈ります。
編集委員：田所 曉雄

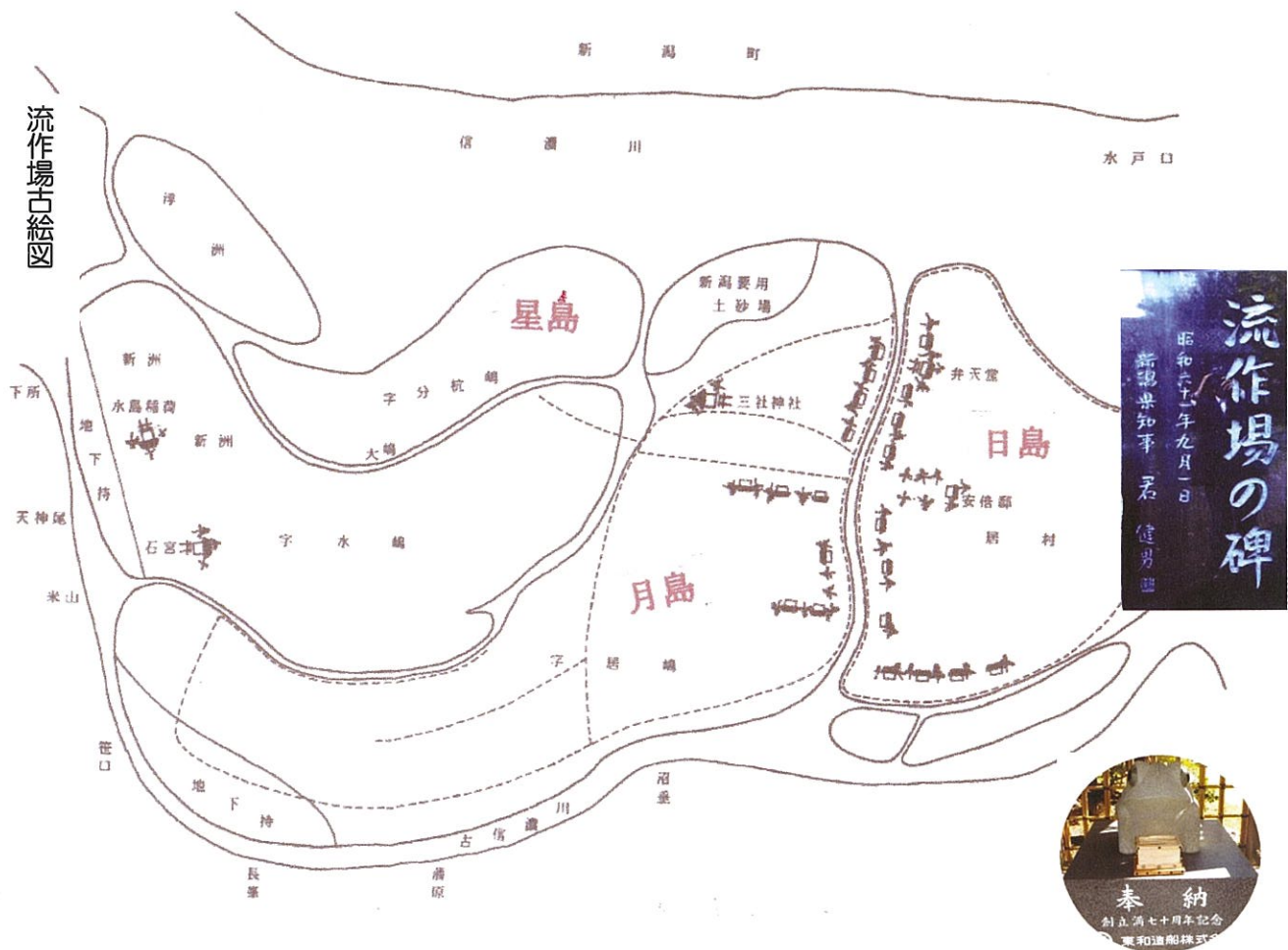
防災訓練参加者総数219名、訓練参加者176名(炊き出し24名、宮浦中24名)安否確認数255名、消防関係8名、来賓10名でした。

今日万代、南万代地区と言う地域は昭和四十三年新潟市施行の住居表示変更まで流作場と言った。駅南プラーカより万代島朱鷺メッセ、万代町通り、万代シティを含む広い地域で新潟駅、バスセンター、佐渡汽船など交通の要所を有している。当地は昔信濃川に点在した島嶼で長岡領「附寄島」と言った。今を遡る二百七十年前、延享三年長岡藩の求めに応じ安倍玄的翁が開発権利金二千七百五十両を納めて八三歳で入植した。はじめ九軒のち十五軒を以って玄的村を形成、人口百名に満たない村民は難関を克服し長岡領越後国蒲原郡附寄島新田を作った。

時代を経て弘化二年幕府領(天領)となり流作場となった。幕末戊辰戦争を経験、更に明治天皇東海北陸御巡幸の折安倍邸は御休息所を勤めた。明治になり萬代橋の架設、新潟駅の開設など発展の基礎ができた。安倍家歴代は地域の発展と児童の教育に尽力し沼垂幼稚園の開園また、万代小学校開校のため其の敷地を提供した。平成二十二年安倍家は其の居を東京に移され元屋敷はなくなった。

安倍家より貴重な歴史的碑文、古文書、絵図などは当地鎮守三社神社へ継承された。現在開拓の祖安倍玄的翁の遺徳を顕彰するものは何も無く今其の頌徳碑の建立が望まれている。

三社神社 宮司 大橋 毅



伝説玄的の青蛙 由緒

当地流作場は延享三年(一七四六)に安倍玄的様が信濃川の島嶼を開拓して住家十五軒にて玄的村を開くに始まる。元来水損地のため、文化四年・五年(一八七・一八七)の三度の大水に襲われ壊滅的状況に至り庵村を決意した。

然し、其の惨状の中で沢山の青蛙が力強く生きていた姿に村人達は発奮して、自らを「玄的の青蛙」と呼び水と戦い水と和して村を再建したと言いつづけている。

今日の繁栄は先祖達「玄的の青蛙」の不屈の努力に依つてもたされた賜物である。当地に起業し本年会社創立満七十年を迎え、東和造船株式会社代表取締役五十嵐由之氏は福を福に増えた開拓者の功績を称え此の伝説

後世に顕彰



奉納 さざれ石

奉納者 水野孝吉殿

今上天皇御即位二十年を奉祝して奉納されました。「さざれ石」とは小さい石の事です。此の石は土の中で長い年月を掛けて小石が寄り付き固まって岩化した物です。国歌「君が代」の「節に」「さざれ石の巖と成りて」と歌われて居るのは此の事です。何万年も掛けて小石が巖と成る様に国土の水久安泰と繁栄を願って詠まれた和歌です。此の「さざれ石」は宮城県登米市の山中で発掘されて奉納されました。添え碑の国歌は当神社所蔵「元帥東郷平八郎閣下」揮毫による物です。

平成二十二年十月吉日 三社神社